

全国学力・学習状況調査三郷市の分析（概要）

◆実施日 平成31年4月18日（木）

◆調査対象 原則として市内の公立小中学校の全児童生徒を対象とする。

【小学校調査】 小学校第6学年 【中学校調査】 中学校第3学年

◆調査内容

1 教科に関する調査（国語、算数・数学、英語）

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に係る内容

調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。

2 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

- ① 児童生徒に対する調査：学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査
- ② 学校に対する調査：指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

◆平均正答率から（全国の結果との比較）

小学校

○「国語」「算数」ともに、全国と比較して、正答数の多い児童の割合が高い。

中学校

○「国語」「数学」「英語」ともに、全国と比較して、正答数の多い生徒の割合が低い。

◆設問ごとの平均正答率から（全国の結果との比較）

小学校

○国語ではすべての領域・観点において全国の平均正答率を上回る。特に「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う」問題と「話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる」問題で大きく上回る。

○算数ではほとんどの領域・観点において全国の平均正答率を上回る。特に「加法と乗法を混合した整数と少数のかけ算をする」問題で大きく上回る。

中学校

○国語では「文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考えを持つ」問題と「書いた文章を読み返し、論の展開にふさわしい語句や文の使い方を検討する」問題は、全国平均とほぼ同じ正答率である。

○数学では「資料を整理した表から最頻値を読み取る」問題で、全国平均を上回る。

○英語では「まとまりのある英語を聞いて、話の概要を理解する」問題で、全国平均を上回る。

◆児童生徒質問紙から

小学校

○「家で自分で計画を立てて勉強していますか」「将来の夢や目標を持っていますか」等で、全国平均を上回る。

中学校

○「学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分がすべきことを決めて取り組んでいると思いますか」等で、全国平均を上回る。

小・中学校

○「読書は好きですか」等で、全国平均を上回る。

